Kourapatkin is surprised at his dinner by wounded from the front.

日本萬歲百擇百笑

○得利寺の打毀れ　骨皮道人

露西亞乃兵ッ鉾軍ハ、いつでも極り切て大敗北、ソレ又負ハヤレ又負ハと負て上ニ必らず又の字が附あれ事ハあいで文から、今度ハ頑數でこなす氣で、五六万乃ヒヨロ武者を得利すへ繰出しハ尤ハ其前よブランテーニ能く似て居る普蒙店で負ながら、其代り得利の方で一番と云ふ、乙ハ同算を附にとのと見へるが、鬼も角多數の兵を出しながら、今度こそハ大兵負るまでハあるまいと信じて、其急將ハ御かなり祝いとしてビールあるを飲み

ながら、戦争の模様ハどうだん兵と、其吉報乃来るのを待擇

て居る事へ、豈に図らんや、又ハ大負大敗ゆゑ

来て、大砲も小流も残らず滅茶しに打毀され、一同這ーの体で逃て来る有様ニ、急將の驚きハ一方あらず「オヤし今度ハ吃度大勝利さらうと思ひの外、又ー大負とハ此活動ありしめ、ナゼ貴様達ハそんなに弱いのぶと云へバ其洗たる兵ハ皆澄ー込んで「ナニ得利するでもかく、さけが強いのです

明治三十七年九月廿日印刷　全年十月一日發行印刷兼發行者日本橋區吉川町二番地　松木平吉（電話浪花二千二百八十六番）